



「JTCO ニュースレター」 ～活動内容のお知らせ～

vol.23 2020年4月13日発行

東京都港区愛宕 1-3-2-1401

発行 NPO 法人 日本伝統文化振興機構 事務センター広島

平素は、NPO 法人日本伝統文化振興機構(JTCO)の活動にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。

JTCO 活動案内

JTCO では、伝統工芸品の販路開拓支援（海外販路）や新商品の開発コラボレーション支援、伝統工芸品産業の振興について、皆様からのご相談に対応しております。お気軽にご相談ください。

日本の伝統工芸紹介 ～新たに指定された工芸～

昨年秋、新たに次の3つの工芸が経済産業大臣指定伝統工芸品に承認されました！

【行田足袋（ぎょうだたび）】

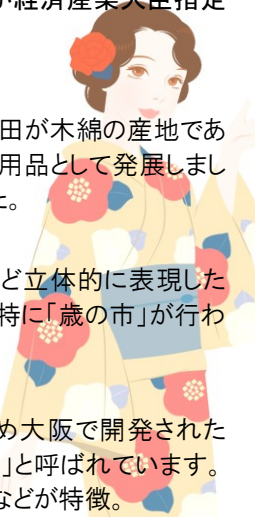
埼玉県行田市で生産される足袋。行田が木綿の産地であり、また街道沿いであった事から旅行用品として発展しました。ドラマ「陸王」でも注目を浴びました。

【江戸押絵（えどおしえ）】

台紙と布の間に綿を詰め、役者絵など立体的に表現した押絵。歌舞伎の隆盛とともに発展し、特に「歳の市」が行われる浅草周辺で多く生産されました。

【浪華本染め（なにわほんぞめ）】

明治時代に模様手拭を量産するため大阪で開発された染色法で、一般に「注染（ちゅうせん）」と呼ばれています。繊細な図案に鮮やかな色彩、ぼかしなどが特徴。



JTCO へのお問合せ

◎JTCO にケニアからお問合わせをいただきました◎

We read about Kazusabori Technology and we are quite intrugued. I come from Rural western Kenya and our organisation works on rurala development. At this time we want to implement water project and we would like to know more about Kazusabori Technology. Additionally, we would like to know if you could partner with us to export traditional japanese culture for rural development. Thank you.

(訳) 上総掘りの技術について読み、大変興味を持っております。

私どもの組織はケニア西部で農村の開発に取り組んでおります。目下のところ、水資源開発に取り組みたいと考えており、上総掘りの技術をもっと知りたいと考えております。

それに加え、農村地域の開発のために私どもとパートナーシップを組んで日本の伝統的な文化の輸出をしていただくことが可能か、お知らせください。

現在、お問合せくださった方に『どのような状況で、どういった情報が必要なのか』等、詳細を確認中です。

JTCO で可能な限り、情報提供や関連組織様のご紹介など、支援をさせていただきたいと考えています。

JTCO 活動情報

～ 伝統工芸産業の発展に関する提案 ～ 【続報】

前号でお知らせいたしました、当機構の及川副理事長と釜山大学の李教授が取り組んでいます「新しい漆産業の開発提案」は、岩手大学と岩手県の漆産業関係機関・団体と共同で取り組むことになりました。

「漆」は縄文時代からあったといわれ、伝統技法を守りながら現代まで継承されてきました。しかし、今や国内生産高わずか3%といわれ、その殆どを中国からの輸入に頼っています。

この「新しい漆産業の開発提案」は、良品質で純度が高く希少性の高い「二戸漆」の新たな生産技術や精製技術を開発し、新分野の商品開発を行うものです。二戸の地域振興になるよう、取り組んでいきます！



伝統文化・伝統工芸品に関する情報（商品、イベントもOK）を、全国の伝統文化・伝統工芸に携わる団体・企業に発信したい方！JTCO がニュースレターにて情報発信いたします！お気軽に下記までお問合わせ下さい！

情報発信・工芸品の販売・JTCO 会員入会・その他記載内容についてのお問合せ先

MAIL: info@jtco.or.jp TEL: 082-230-0243 FAX: 082-230-0263 (発行人: JTCO 及川・中村)

[JTCO] <http://www.jtco.or.jp/> [和遊苑] <http://wayouen.jp/> 伝統工芸品での記念品作成も承っております！